

新宿 2020 サポーター通信

2022年2月 新宿区東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課

皆さん、こんにちは！東京2020大会が閉幕して、半年が経とうとしています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、皆さんに活動の場をご用意できず、大変残念に思っていたところ、大会後も「ボランティア活動を続けたい！」「何かお手伝いできることはありませんか？」との声を、多くいただきました。

そこで、今号と次号（最終回）の「新宿2020サポーター通信」では、ボランティア活動を始めるとあたって参考にいただけるような情報をお届けします。

生活の中にボランティアを

オリンピック・パラリンピックという世界的なイベントが終わった今、地域に目を向けてみませんか。

地域では、コロナ禍の日常生活が長引いていることから、今までは誰かと一緒にできたことができなくなり、人と人が直接に接する機会が減りました。皆さんも、生活するなかで変化を感じていらっしゃるのではないのでしょうか。

感染防止のため、人と距離をとることが求められるなかで、人と人との関わりをもととするボランティアは、難しい局面を迎えています。しかし、このような状況においても、誰かのためにできることがあります。

誰もが「できること」を「できるとき」に支え合っていくことで、「お互いさまの支えあい」の輪を

地域で広げることを目指す、「新宿区社会福祉協議会（新宿社協）」のボランティア活動を紹介します。

地域で誰かの役に立ちたい！

ボランティアを始めてみたいけれど、どこで何ができるの？

少しの時間でも、手伝えることはありますか？



お電話お待ちしております！

まずは、**新宿区社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター**

☎ 03-5273-9191 にお電話ください！！

ボランティア活動までの流れ

STEP1

来所予約

新宿区社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター（☎ 03-5273-9191）にお電話ください。区内に8か所ある新宿社協のボランティア相談の窓口をご案内し、ご都合に合わせて来所予約をします。

STEP2

相談

ボランティア活動に際しての心構えや注意事項等を説明します。あなたの興味があること、得意なこと、好きなことを聞かせてください。会話をしながら、活動分野を探っていきましょう。



話すうちに今まで気がつかなかった、自分の新たな可能性が見つかることも！

STEP3

活動登録

新宿社協のボランティア活動者として登録します。活動できる曜日・時間、希望する活動場所等を活動登録書に記入しましょう。

STEP4

マッチング

新宿社協がさまざまなボランティア依頼の中から、あなたの希望に合う活動を提案します。

STEP5

活動開始！！



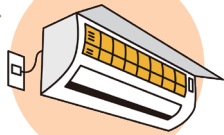


掃除・洗濯

日々の生活の中のちょっとした時間を使って、ボランティアをしてみませんか？



食事作り



簡単な家電の操作、掃除

新宿区社会福祉協議会では、ボランティア
したい人と手助けしてほしい人を丁寧に
おつなぎ（マッチング）しています。

私たちが
お答えします！

詳しく聞かせて！

INTERVIEW

新宿区社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター



— 新宿社協が紹介するボランティアにはどのようなものがありますか。

30分程度からできる家事支援、例えば掃除や電球の交換、買い物のお手伝い、荷物の上げ下ろしのほか、月に2回「ぬくもりだより」という広報紙のお届けを兼ねたお年寄りの見守り、将棋や麻雀等の趣味のお相手、夏祭りなどのイベントの手伝いなど、たくさんのメニューがあります。

— どんな方が活動していますか。

ボランティアというと、退職後など時間がある方が多い印象をお持ちかもしれませんが、新宿社協のボランティアには学生や会社員のご登録も多く、幅広い年代の方々が活動しているんです！仕事の合間に活動する方や、お子さんを連れて活動する方もいます。

— ボランティアというと、個別の募集に申し込むという流れが一般的ですが、新宿社協のしくみでは「マッチング」という点が特徴的ですね。

登録前の相談のときに趣味や特技についてお伺いすると、それがご本人も思いもよらなかった形で地域のニーズと合致して、活動に繋がるケースが多くあります。それは、しっかりお話させていただく時間を設けるからこそ、見つけられるものです。

わたしたち新宿社協の目指すものは、ボランティア活動だけではなく、活動を通じて地域を知ってもらい、地域に関わってもらうことにあります。そのためにも、活動しようとする方の人となりや、やりたいことに寄り添っていきたくて、しっかりお話を聞いてから、マッチングをしています。

— 実際に、ボランティア活動をきっかけにつながりが生まれた事例をご紹介しますか。

以前、ある中国人留学生に、高齢者施設の庭の水やりボランティアを紹介しました。彼は、そこで先に活動していた日本人ボランティアと中国人ボランティアに教えてもらいながら水やりをして2人と親しくなり、地域に知り合いができたことをとても喜んでくれました。

— コロナ禍により、そういった人との出会いやふれあいが減っていますが、ボランティア相談に変化はありますか。

感染拡大により、人との接触を避けようと、ボランティアをしたいという相談が減るのではないかと懸念していましたが、実際は「つながり合うことの大切さを感じた」「地域の役に立ちたい」「できることから始めたい」との相談が寄せられました。特に、働き盛りの世代からの相談が増えたことは

印象的でした。「制限されたなかでも、何かできないか」と考えてくださっているということですね。

— わたしたちに今できることは何でしょうか。最後に、新宿 2020 サポーターへメッセージをお願いします。

ご自分ができることを、できるときに。新宿社協がマッチングするのは、「ボランティア」という言葉よりも、「つながり」「支え合い」という言葉で表わされるような、地域の身近な活動です。「何かやってみたい！」と思ったら、まずはお気軽に新宿社協にお電話ください。

もし、今すぐの活動が難しくても諦めずに、できるときに向けた準備をしませんか。「できるときがきたらすぐに始められるように」という事前の相談も大歓迎です。外出できない方には、自宅のできるボランティアメニューもご用意しています。

活動しなくても、高齢者・障害者・子育て世帯等の助けが必要な人についての理解を深め、日々の生活のなかでそうした視点を持ってみてください。皆さんが、「支え合い」の輪に加わってくださることを期待しています！

新宿区社会福祉協議会 公式 SNS

今回、取材した新宿社協では、公式 SNS でボランティア活動に係わるさまざまな情報を発信しています。インタビューにもあった「できるときに向けた準備」にぴったりの講座（手話、困っている方への声かけのポイント等）は、YouTube で公開されていますので、ぜひご覧ください。



※アイコンをクリックするか、QRコードを読み取ると各サイトにアクセスできます。